

うらおそい歴史新聞

第10号
H26年2月

浦添市には初期琉球国の王陵で、英祖王と尚寧王が葬られたといわれる「浦添ようどれ」があります。

浦添ようどれは英祖王代(在位二二六

〇(二二九九年)に造営されたとされる

王陵で、岩壁に横穴を掘り墓室とし、墓室内には中国産の石で作られた厨子があります。向かって右は英祖王、左は尚寧王の墓といわれ、内部の石厨子には仏像や花、獅子等が浮き彫りされています。浦添グスク・ようどれ館に英祖王陵内部が復元されているので、是非見に来てください。



石獅子
尚寧王陵の袖石積みには、墓を守るように石獅子が座っています。もとは一対でしたが、右側の石獅子は沖縄戦で破壊されました。



くら うじょう
暗しん御門

ようどれの墓庭につながる通路で、戦前はトンネル状でした。あの世に行くような雰囲気でしたが、沖縄戦で破壊されました。

英祖王陵の石厨子(レプリカ)

石厨子には仏像や花、獅子などが浮き彫りされています。特に仏像は沖縄に現存する最古級のものです。



浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】

午前九時～午後五時

【入館料】

大人(高校生以上) 100円

小人(小・中学生) 50円

※市内小・中学生は無料

【休館日】 月曜日

【電話】

098-874-9345

